

## 会議結果のお知らせ

令和5年度第1回田老地域づくり協議会を、次のとおり開催しました。

令和5年5月18日

田老地域づくり協議会

### 1.開催日時

令和5年4月27日（木）午後6時30分～午後8時30分

### 2.開催場所

田老総合事務所2階会議室

### 3.議題

- (1) 令和4年度宮古市地域創造基金事業（地域活動枠）実績報告会
- (2) 令和5年度宮古市地域創造基金事業（田老地区分）について
- (3) 令和5年度田老地区イベントについて
- (4) その他

### 4.会議の概要

議題(1)について、実施団体による実績報告、質疑及び意見交換後、委員による事業評価を行った。

議題(2)から(4)について、事務局からの説明の後、意見等を求めた。

詳細は、別添議事録のとおり。

### 5.問い合わせ先

田老地域づくり協議会事務局 宮古市田老総合事務所地域振興係  
電話 0193-87-2971（直通）（内線 6213）

## 令和5年度第1回田老地域づくり協議会議事録

### 1. 開催日時

令和5年4月27日（木）午後6時30分～午後8時30分

### 2. 開催場所

田老総合事務所2階会議室

### 3. 出席委員（10人）

八重樫則夫会長、畠山正広副会長、坂本幸博委員、前田恵美委員、鳥居大樹委員、牧野明美委員、高屋舗峰子委員、佐々木優委員、玉澤邦彦委員、加藤洋一郎委員

### 4. 欠席委員

前川邦夫委員、藤田千夏子委員

### 5. 発表者

- (1) 宮古市田老地区復興まちづくり協議会
- (2) 特定非営利活動法人津波太郎

### 6. 事務局等出席者

田老総合事務所 齊藤清志所長、山崎俊幸地域振興係長、上坂春樹主任

### 7. 傍聴者

なし

### 8. 議題等

- (1) 令和4年度宮古市地域創造基金事業（地域活動枠）実施報告会
- (2) 令和5年度宮古市地域創造基金事業（田老地区分）について
- (3) 令和5年度田老地区イベントについて
- (4) その他

### 9. 結果

令和4年度地域創造基金事業実施団体が事業内容について報告し、質疑応答を行った。  
令和5年度宮古市地域創造基金事業（田老地区分）、令和5年度田老地区イベント、その他で、小田代山荘閉所、大規模養豚施設整備及び田老総合事務所の日曜、祝日の日直当番対応について、説明した。

（詳細は、別紙のとおり。）

別紙

質問・意見	回答
<p>【宮古市田老地区復興まちづくり協議会活動推進事業について】</p> <p>(委員)</p> <p>協議会の活動は完結に近いということですが、今後どのように考えているか。</p> <p>【昭和三陸大津波90周年記念事業—伝承・津波防災・風化防止・追悼—事業について】</p> <p>(委員)</p> <p>実績報告書の中で、イベントにどのくらい参加者がいたか。</p> <p>(委員)</p> <p>避難訓練の参加者が少ないという印象だが、どういった世代が来たか。</p>	<p>(発表者)</p> <p>今までの活動を振り返ってまとめてみようと思う。</p> <p>令和7年度以降については、自分たちでできる事業等について、検討したい。</p> <p>(発表者)</p> <p>3月3日ゆめあかりは20～30名 3月4日午前で開催した防災ジャパンダプロジェクト15名程度、午後は、小中学校のパフォーマンスだったので、父兄が多く約70名だった。</p> <p>3月5日夜間避難訓練は、道の駅は28名、団地のほうで20名ぐらい。午前、聖地巡礼は、15名ぐらいの参加で、午後の講演会は30名ぐらい。その他、オンライン参加者は、約25名でした。</p> <p>3月7日～12日の復興写真展、作品展示では、250～300名の見学者があった。</p> <p>(発表者)</p> <p>全体的に、若い方は少なかった。50代以上の参加者があった。</p>

<p>(委員) 夜間の避難訓練で28名参加は結構すごいと思うが、想定はどのくらいだったのか。</p> <p>【小田代山荘閉所について】 (委員) グリーンピアへの送迎バスの乗車場所は決まっていますでしょうか。</p> <p>(委員) 閉所した小田代山荘はどうするか</p> <p>【令和5年度宮古市創造基金事業（田老地区区分）について】 (委員) 地域創造基金のチャレンジ枠と地域活動枠の審査区分を知りたい。</p>	<p>(発表者) 報道機関も取材があり、遠くは宮城県からきた。</p> <p>私たちの活動は、昭和三陸大津波、東日本大震災も含めて、津波遺産をどういうふうに次の世代に残していくかということが課題である。</p> <p>地域の皆さんからご理解ご協力をいただかないと、私たちの所期の目標を達成することができない。我々も高齢者が多いため、いかに次の世代に残して伝えていくかという大きな課題があるので、ぜひ地域の方々を含めて、若い方々も大いに参加していただきたい。</p> <p>(事務局) 三王団地ルートは、駐在所から左に回って自治会研修センター、30分団屯所のところを通ります。</p> <p>(事務局) 解体する予定となっています。</p> <p>(事務局) 補助金の金額で分けている。50万円以内の地域活動枠は田老地域づくり協議会で審査する。</p> <p>50万円を超えるチャレンジ枠は、田老地区だと、大漁まつり、おらほの夏まつり、元祖サッパ市は、4地区合同会議で審査している。</p>
--	--

<p>(委員)</p> <p>大漁まつり、サッパ市等を合同会議で審査しているのを他の委員は知っているのか</p>	<p>(事務局)</p> <p>合同会議は昨日も開催した。4地区合同会議で実施団体がプレゼンをして審査した結果、点数で評価される。お手元の資料のとおり、4地区の委員から評価をいただき事業が採択されてきたものです。</p> <p>田老地区体育大会は地域活動枠のため、田老地域づくり協議会で審査しています。</p>
<p>(委員)</p> <p>地域創造基金事業の基金が令和6年度で終了予定であることから、今後どうやっていくか田老地区での協議も必要になってくるのでは。</p> <p>地域創造基金事業は、いずれ自立して事業をできるようにするというお題目がある。自立していない事業が続いていることが多い。中には、自分たちの費用で事業実施しているところもあるが、基金がなくなれば事業をやらないというところもあると思うが。</p>	<p>(事務局)</p> <p>基金事業がなくなったらやめるのではなく、継続するためには何ができるか皆さんと協議していかなければならないと考える。</p>

20:30 田老総合事務所長が会議の閉会を宣言